

財政改革推進プログラム(案)に対するご意見・ご提言(県民・団体)

土木部

ご意見・ご提言の内容	ご意見等に対する見解及び対応
<p>公園施設使用料の減免規定の見直しは、選手や保護者の負担が増す他、国体や高体連等の大会運営、選手強化に影響することから、再考してもらいたい。</p> <p>(同様12通)</p>	<p>(都市計画課)</p> <p>行政サービスを受ける人から、そのサービスにかかる経費の一部を公平に負担していただくという応益負担の原則と、利用者間の公平性の確保の観点から、減免規定の見直しを行うこととしました。</p>
<p>新幹線の長野以北と新規高速道路の建設は中止するか、建設期間をなるべく長期にする。</p>	<p>(高速道・北陸新幹線局)</p> <p>北陸新幹線長野以北は、本県と北陸地方や大阪圏との時間距離を大幅に短縮し、沿線地域の広域交流の促進と連携を強化するものであり、県としても早期全線整備に向け積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、負担金については、全国新幹線鉄道整備法などにより、建設費の3分の1を都道府県が負担することと定められており、これに基づき、平成14年度は、約36億円を予算化しています。</p> <p>高速道路の建設は、国土政策の根幹に関わるものであり、国の責任において計画的に整備が進められています。なお、新幹線のような建設費に対する県の負担金はありません。</p>
<p>経費節約と環境への配慮のため、県道への融雪剤散布は行わない。</p>	<p>(道路維持課)</p> <p>当県は、全域が寒冷地域で、特に北信を中心とした31市町村は豪雪地帯でもあります。このような気象条件下で、冬期の安全円滑な道路交通を確保するためには、一定の凍結防止剤の散布は欠かせないものであり、御理解をお願いします。</p> <p>なお、凍結防止剤については、効果、コスト、副次的影響等を総合的に勘案して選定しており、比較的安価な塩化カルシウムや塩化ナトリウムなどの塩素化合物を主に使用しています。</p> <p>現在、一部機関において環境への影響が少ないとされている酢酸カルシウムマグネシウムなどの新製品を試験的に導入して、そのコストや効果などについて検証しています。今後、現在使用しているものより、コストや環境への影響面で優れた製品があれば、順次導入してまいりたいと考えております。</p>
<p>建設業界は、長引く不況の中で体力を消耗しており、急激で大幅な変化には対応できない。新たな産業へ移行させながら縮小してゆくことが必要。</p> <p>公共事業が地域経済に与える影響は無視できるものではなく、補助事業を有効かつ効率的に活用するべき。</p> <p>もっと緩やかに改革を進められたい。</p>	<p>(監理課)</p> <p>旧来の公共事業依存体質から脱却し、福祉・医療、環境、教育といった分野に重点を置いて、新たな社会・経済システムを構築するため、投資的経費は段階的に削減してまいりますが、新分野への進出支援や経営基盤強化の支援、相談窓口の設置など、意欲ある建設業者が成長してゆくとともに、多様な選択が可能となるような環境整備に取り組んでまいります。</p> <p>また、限られた事業費の中で事業効果を高めるため、補助事業も有効に活用して、県民要望の強い着手済の継続事業や維持修繕的な事業に重点投資を行い、その早期完成を図っていくとともに、長野モデル創造予算を活用して新たな公共投資を展開します。</p> <p>併せて、1.5車線道路など地域の実情に応じた整備手法や施工方法の工夫などにより、一層のコスト縮減を進めるとともに、入札方法の改善等を行い、少ない事業費でより多くの事業量を確保できるためのシステムを構築してまいります。</p>